

令和2年度、令和3年度 授業研究会 活動報告

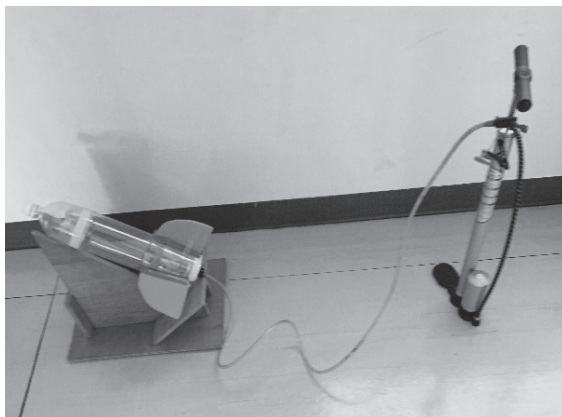
高橋 俊二

1 授業研究会について

授業研究会は、幼稚園や小学校で授業をする際の指導技術を学びたい学生の研究会です。授業づくりに積極的に取り組むために、理科の実験教材となる「ペットボトルロケット」の製作や飛ばす実験は、この研究会の伝統となっている。飛ばす実験では、改良に改良を重ねたロケットでは、ゆうに80mは飛ばすことができる。その他にも、水風船を作ったり、シャボン玉の液を台所洗剤・合成洗濯のり・水の配合を考え、より割れないシャボン玉づくりに挑戦したりした。生活科に役立つ動くおもちゃづくりや算数の教材づくりも行った。

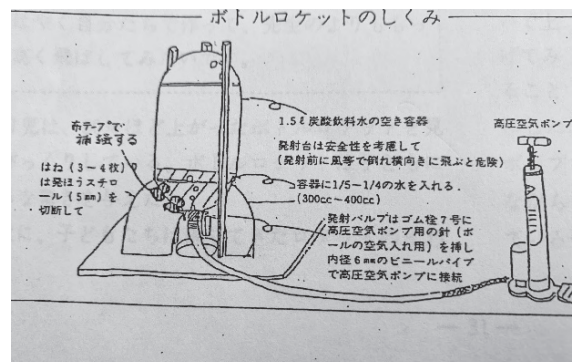
2 「ペットボトルロケット」の実験

「ペットボトルロケット」は、別府大学短期大学部初等教育科元教授の三浦清先生が大分県で初めて小学校3年生理科「水と空気」授業の教材として使い、水と空気の間係を考えながら、ペットボトルロケットを子どもたちと打ち上げた。



ペットボトルロケットの実物

「ペットボトルロケット」は、炭酸飲料水等の空き容器（ペットボトル）の中に少量の水を入れ、空気ポンプで空気を押し込み、押し縮められた空気が元に戻ろうとする力でゴム栓がはずれ水が噴射される。その反作用で、ロケットが高く上がるおもちゃである。外から高圧空気ポンプで多量の空気を押し込むので、強い推進力が得られ、子どもでも40mの高さまで上げることができる。



ペットボトルロケットのしくみ



ロケット打ち上げの実際

3 令和3年度ウインターフェスティバル

令和3年12月1日（水）ビーコンプラザにおいて、ウインターフェスティバルを開催することができた。コロナ禍であったが多くの園児が参加してくれた。授業研究会では、子ども向けのクイズ大会と学生向けのクイズ大会を行った。

（子ども向けのクイズ大会）



黒いものは何かな？



シルエットクイズとして、子どもたちに何か当ててもらった。

クイズに正解すると、机の上にある、折り紙で作ったメダル、ハート、インコ、オウム等、好きな景品がもらえるために、子どもたちの笑顔が印象的だった。一生懸命作った甲斐があった。

（学生向けのクイズ大会）



これはどこのメーカーの水かな？



3つのメーカーのペットボトルのミネラルウォーターを授業研究会の会員が陰で1種類入れて、飲んだ水がどこのメーカーか当てるクイズである。

みんな大爆笑し、大いに盛り上がった。すべて当てた学生がいてたくさんの景品を持ち帰った。

4 今後の課題

途中から2年生が、授業研究会に多く入ってくれて、活動が活発になったが、コロナ禍で、学外での活動ができなかった。研究会への加入も積極的に呼びかける必要がある。